

## 2025年度 授業コード: 22118300

授業科目	現代の精神保健の課題と支援 I				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	梶原 浩介						
授業概要	<p>本講義は、精神保健に関する現象・問題等を体系的に捉え、対応策や予防策を見出していくための学問となる。精神的な健康や精神障害等が、当事者を取り巻く生活環境と強い関連性があることから、その対応と予防においても、さまざまな要素を同時的、継時的にみていかなければならない。そのため、精神保健の概要、現代の精神保健分野の動向、基本的な考え方、ライフサイクルにおける精神保健を概観する。また、家族に関連する精神保健の課題(子育て・介護、家族関係、家庭内暴力、精神疾患、アルコール依存、ヤングケアラー、虐待・自殺等)、学校に関連する精神保健の課題(発達障害、いじめ、不登校、非行、自殺、学校教職員のバーンアウト等)、地域に関連する精神保健の課題(ひきこもり、職場、災害等)などについて、現代社会における現状と課題を踏まえ、支援の実際と各種法制度サービスなどについて解説する。地域生活を営む上で、精神保健の課題がどのようなものが存在し、どのような支援が現代社会において求められているのかについて、福祉専門職の立場から講義を展開する。</p> <p>本科目を通して、知識のみではなく、事例やグループワーク等を通して現場で求められる技法や社会資源、ネットワークの活用の在り方等について学ぶこととする。</p>						
授業形態	対面授業		授業方法	対面授業のテーマに基づき、反転授業、グループワークなどを実施する。また、ICTを使用した双方向型授業(Google フォームなどによる学習内容の確認等)、自主学習支援(クラスルームによる資料配信等)を実施する。			
<b>学生が達成すべき行動目標</b>							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。</li> <li>2. 精神保健の基本的な考え方を理解する。</li> <li>3. 現代社会における精神保健の諸課題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>4. 精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について理解する。</li> </ol>						
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の精神保健分野の動向と課題を説明できる。</li> <li>2. 精神保健の基本的な考え方を説明できる。</li> <li>3. 現代社会における精神保健の諸課題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について説明できる。</li> <li>4. 精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について説明できる。</li> </ol>						
<b>評価方法・評価割合</b>							
評価方法	評価割合(数値)			備考			
試験	60						
小テスト							
レポート	20						

発表（口頭、プレゼンテーション）	10	課題に対する話し合いも含む									
レポート外の提出物											
その他	10	授業中の発言・質問、参加姿勢等									
<b>カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21515J
<b>学習課題（予習・復習）</b>										1回の目安時間（時間）	
授業内外で学んだことなどについて、ノートにまとめ、関連する領域の文献を読み、授業内容の理解を深める。また、学習内容との関連に注目して、生活の中にある精神保健福祉について理解を深める。										4	
<b>授業計画</b>											
第1回	オリエンテーション-精神保健の概要①- ・授業の概要、到達目標、各回の進行内容や進め方等について説明します。 ・精神保健に関する基本的知識について解説します。										
第2回	精神保健の概要②-精神保健とライフサイクル(1)幼児期・学童期・思春期- ・社会構造の変化と新しい健康観について解説します。 ・幼児期・学童期・思春期での精神保健の課題について解説します。										
第3回	精神保健の概要③-精神保健とライフサイクル(2)青年期・成人期・壮年期・中年期・老年期- ・青年期・成人期・壮年期・中年期・老年期での精神保健の課題について解説します。										
第4回	現代の精神保健分野の動向と基本的考え方①-精神保健の動向と三つの対象- ・ストレスと精神の健康、生活習慣と精神の健康について解説します。										
第5回	現代の精神保健分野の動向と基本的考え方②-精神の健康に関する心的態度と嗜癖- ・精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害について解説します。 ・精神の健康への関与と支援について解説します。										
第6回	家族に関連する精神保健の課題と支援①-家族関係における暴力と精神保健- ・家族を取り巻く社会状況の変化と現状・課題等について解説します。										
第7回	家族に関連する精神保健の課題と支援②-出産・育児をめぐる精神保健- ・出産・育児をめぐる現状・課題等について解説します。										
第8回	家族に関連する精神保健の課題と支援③-介護をめぐる精神保健- ・高齢者に関わる諸問題について解説します。 ・認知症高齢者の現状・課題、施策等について解説します。										
第9回	家族に関連する精神保健の課題と支援④-ひきこもり・8050問題をめぐる精神保健 ・ひきこもり・8050問題の現状・課題等について解説します。										
第10回	家族に関連する精神保健の課題と支援⑤-家族関係をめぐる課題と支援- ・家族関係をめぐる課題についてまとめると共に、求められる支援について解説します。										
第11回	精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ①-不登校・ひきこもり- ・学校教育の課題である、不登校・ひきこもりの現状・課題について精神保健の視点から解説します。										
第12回	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ②-いじめや校内暴力・非行、学校教職員のメンタルヘルス-										

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育で生じる、いじめや校内暴力・非行、学校教職員のメンタルヘルスの現状・課題について精神保健の視点から解説します。</li> </ul>
第13回	<p>精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ③-子どもの自殺・虐待、スクールソーシャルワーカーの役割-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自殺・虐待、スクールソーシャルワーカーの役割等について精神保健の視点から解説します。</li> </ul>
第14回	<p>精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ①-現代の労働環境における問題-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の労働環境における精神保健の課題について解説します。</li> </ul>
第15回	<p>精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ②-まとめ-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルスと職場復帰支援について解説します。</li> <li>・授業の総合的なまとめを行います。</li> </ul>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新 精神保健福祉士養成講座2「現代の精神保健の課題と支援」中央法規</li> <li>・適宜、レジュメ資料を配布する。</li> </ul>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考文献、資料などは講義の際に適宜、情報提供する。</li> </ul>
課題に対するフィードバックの方法	<p>対面授業のテーマに基づきグループワークなどを行い、授業資料等で振り返る。また、ICTを使用して、回答例の提示や自主学習のための資料等を配信する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>現代の精神保健の課題と支援は、精神医学的な基礎理解を必要とする場合があるので、2年次後期開講の「精神医学と精神医療」の科目を受講しこの授業に臨む、もしくは在学中に受講をしていくことが望ましい。</p> <p>現代の精神保健の課題と支援は、前期・後期に分けて開講されます。特に前期の現代の精神保健の課題と支援Ⅰでは、精神保健に関する知識やその課題に対する支援の在り方等を講義を通して勉強していきます。そのため、指定された範囲の予習と授業内容の復習を行ってください。より高度な知識が求められますので、集中して授業に臨んでください。</p> <p>また講義では、理解を深めるために教員による講話のみならず、グループワークなどを実施する場合があります。理解を深めるために積極的に参加してください。</p> <p>精神保健及び福祉に関連のある社会問題に関心を持ち新聞、テレビ等のマスコミ報道から最新の情報を入手するよう努めてほしい。</p>